

子どもたちの 悩みを受け止めるために。

学校の役割は多様化しています。さまざまな悩みを抱えた子どもたちの相談に乗り、
楽しく学校へ通えるように。3年間小学校で相談員を務めた梅田美千代さんに伺いました。

—相談員とは、どのような
役割なのでしょう？

学校の先生とは別の視点で
子どもの話を聞ける大人。何
でも気軽に話せて愚痴も言え
る相手ですね。子どもは話す
ことで気持ちの整理がつくこ
とも多いし、こちらとしては
問題の芽を小さなうちに摘む
ことができる可能性があります。
保護者のお話を聞くのも
大切な仕事です。「相談員」
は総称で、市町によって呼び
方は違います。

—スクールカウンセラーと
相談員は違うのですか？

カウンセラーは専門の資格
を持つ方ですが、相談員は子
育てや地域活動の経験者な
ど、もっと気軽に話し相手で
す。不登校の子どもたちは、



梅田美千代さん

この春まで、勝山市内の小学校で
「親と子の相談員」を務める。現
在は演劇を通して想像力や表現力
などを引き出す「ドラマ教育」を実
践する「うめだ演劇工房」を主宰。
県子どもNPOセンター理事。

背後に家庭や学習面、人間関
係など複雑な要因を抱えてい
ます。私たちはまず子どもに
近い立場で時間をかけて、
じっくり話を聞いていきま
す。

—まずは何でも聞いてあげ
るのですか？

状況がわかったら、相談員
は保護者や教師と連絡を取り
ながら支援方法を探ります。
ケースに応じてカウンセラー
の力をお借りして、協力して

解決にあたります。

—きめ細かなケアをしてい
ることが分かります。

スクールカウンセラーは、
中学校が全校配置になったと
はいえ勤務は週1回程度、小
学校の配置はまだ2割です。
さらに一方で、相談員の数は
減っている実態があります。
社会が複雑になり、子ども
の悩みは多様化しています。関
わる立場、共有できる時間、
専門知識などそれぞれの特性

を生かし連携しながらの、効
果的なケアが大切になってい
ます。

—今後も子ども心のケア
に関わる方々の役割は、ます
ます重要になりそうです。

悩みやストレスを抱える子
どもたちは、長い目で見守っ
てあげることが大切です。相
談員がコロナ変わってしま
うと、積み上げた信頼が途切
れてしまいます。

県教組では、こうした子ど
もたちへの支援体制を整えよ
うと請願活動に取り組んでい
ますよね。地域や保護者の
方々にも相談員やカウンセ
ラーの役割を知っていただ
き、一緒に署名活動や学校や
市町への直接要望などにご協
力いただきたいと思えます。

教師をサポートする子どもたちの相談役

スクール カウンセラー

臨床心理士など専門的な知識や
経験を有する。平成23年度は県
内に56人が配置。中学校は全校
の74校に配置(1人が複数校兼
務)、小学校の配置は45校と約
2割。

スクール ソーシャルワーカー

社会福祉士など、福祉や教育の
専門的な知識を持つ。不登校の
子どもの家庭に直接向いた
り、学校や福祉関係機関、地域
との連携を強化しながら対応。
平成23年度は12人で県内全域
を担当。

相談員、支援員など

免許等は不要だが、教育や子育
ての経験が豊富で地域活動に積
極的な人が多い。学校の要望に
応じて市町などから派遣され、
子どもと近い目線で相談や学校
生活の支援を行う。雇用の条件
はさまざま。



子どもたちの未来を、もっとよくするために。福井県教職員組合は活動しています。

福井県教職員組合 〒910-8544 福井市大手2-22-28 福井県教育センター内 電話 0776-23-1887 ファクス 0776-23-2919 <http://www.ftu.or.jp/>